

灯台 どうだい？

灯台マニアがおくる
崖っぷちマガジン

映画映画
モーイ
アクション！

Vol.12

2016.early Winter

TAKE
FREE

灯台映画



舞台となった灯台のひとつ 水ノ子島灯台

喜びも悲しみも幾歳月

- 観音埼灯台 (三浦半島/神奈川県)
- 石狩灯台 (石狩/北海道)
- 伊豆大島灯台 (伊豆大島/東京都)
- 水ノ子島灯台 (水ノ子島/大分県)
- 女島灯台 (女島(五島列島)/長崎県)
- 弾埼灯台 (佐渡島/新潟県)
- 御前埼灯台 (御前崎/静岡県)
- 安乗埼灯台 (志摩/三重県)
- 男木島灯台 (男木島/香川県)
- 日和山灯台 (祝津/北海道)

新・喜びも悲しみも幾歳月

- 経ヶ岬灯台 (丹後半島/京都府)
- 石廊埼灯台 (伊豆半島/静岡県)
- 部埼灯台 (企救半島/福岡県)
- 水ノ子島灯台 (水ノ子島/大分県)
- 八丈島灯台 (八丈島/東京都)
- 尻屋埼灯台 (下北半島/青森県)
- 恵山岬灯台 (恵山岬/北海道)
- 函館港島防波堤灯台 (函館港/北海道)
- 矢越岬灯台 (矢越岬/北海道)

その1

喜びも悲しみも幾歳月 (57年 監督:木下恵介)
新 喜びも悲しみも幾歳月 (86年 監督:木下恵介)

新旧ともに灯台映画の代表作。製作年の違いもあるのだろうけど、戦前・戦中・戦後と話が続くオリジナルの方が「灯台守の生活の大変さ」の描写の気合の入り方が違う(そしてその大変さは日本国民のつらさと重なる作りになっている)。戦時中、灯台が米軍の攻撃目標とされ、殉死者が何人も出ていたなどこの映画で初めて知った。

灯室内のシーンはセットとロケの使い分け? 実際の灯台を知らないの、見ただけでは判別は難しい。動いている投光機があるから、やっぱりロケかなあ。それとも映画黄金時代でセットにお金がかけられたのか。いずれにせよ、「新」では灯室内のシーンはまったくない。オリジナルに比べ「新」の方は「灯台守の映画」というよりは、植木等演じるおじいちゃんの秀逸なキャラクターを中心にした「家族映画」になっている印象。もっとも、それはそれで映画としては悪くない。

映画が苦手な不動もこれは見えますよ!

この主題歌を歌えなければ灯台マニアとしてモグリと言われるほど。映画誕生のキッカケとなったのは、実際に灯台守をされていた田中續さんの奥様 田中きよさんが書いた手記が、当時の婦人雑誌「婦人倶楽部」(昭和31年8月号)に「海を守る夫とともに二十年」というタイトルで掲載されたことでした。この記事が木下恵介監督の目に留まったのです。「新喜びも〜」の誕生秘話については「日本の灯台」という書籍に元海上保安庁灯台部長の長岡日出雄さんによって書かれています。長岡さんは映画の中で海上保安庁長官として出演されています。(不動)

物語の舞台として、また重要なシーンの背景として描かれることも多い灯台。今回は灯台映画にスポットをあてます。しかし、編集長は映画を見ることが苦手で困っていたところ、ある方が「僕が書きましょう」と救いの手を差し伸べてくださいました!

「灯台どうだい?チャンネル」を開局しました!

3ヶ月に1回発行しているフリーペーパー「灯台どうだい?」ですが、ページ数が少ないのでどうしても情報量に限りがあります。そこで“映像”でも灯台の面白さや魅力を発信することにしました!『TDC 灯台レポート』というタイトルで現在5本の動画をYouTubeにアップしております。

灯台の一般公開やイベントの様態をレポート形式でお伝えする5分程度の映像です。紙面だけではお伝えできない臨場感や回転しているレンズの姿など、動画での利点を生かして今後も発信していきます!



もちろんフリーペーパーの「灯台どうだい?」も続けていきますので、来年も応援をよろしくお願いします!

灯台レポートで検索
ぽちっ!

2016年11月11日

「灯台どうだい?」発行・編集 不動まゆう



12号の灯台

フランスのブルターニュ地方最大の島であるベル・イル。キブロン港からフェリーで40分ほどで到着します。パケーションシーズンはパリっ子も集まる大人気の避暑地です。島の港には素敵な防波堤灯台がありますし、歴史あるゴールファー灯台は一般公開され、灯台に登ることもできます。花崗岩の塔に赤い灯籠がおしゃれな灯台です。(6ページの灯台グラヴィアでお楽しみください。)

やったあ!ついに「灯台カード」登場!!!

11月1日は灯台記念日でした。毎年10月下旬から11月にかけて各地で灯台の一般公開などイベントが企画されます。その一環として第7管区海上保安部から灯台カードが登場です。第7管区の灯台を訪問すると、灯台にQRコードが掲示してあり、携帯端末などでダウンロードして収集することができます。収集した画像を各自で市販の名刺用印刷用紙にプリントアウトすれば、名刺サイズの灯台カードのできあがり!第7管区の著名な灯台20基がカード化されるとのことなので、これはコンプリートを目指しましょう。期間は特に設けておらず、1年ほどはQRコードを掲示予定とのこと。さら到来年ももっとパワーアップするかも?!期待しちやいますね!

また、茨城海上保安部でも灯台カードを作成し、大津岬灯台の一般公開で来灯者にプレゼントしてくださいました!この日の映像はyoutubeの「灯台レポート」でぜひご覧ください!

各地で灯台カードが登場しファンとしては嬉しい限り。お仕事の合間をぬってカードを作ってくださいる海上保安部の皆様、本当にありがとうございます!このカードで灯台への認識を深め、もっともっと愛していきます!



第7管区海上保安部 HP より





その4

https://en.wikipedia.org/wiki/Pigeon_Point_Lighthouse

愛という名の疑惑 (92年 米 監督:フィル・ジョアノー)

タイトルバックが灯台のライトの動きを模したアニメで、灯台好きの心をくすぐる。映画は美人姉妹の罠にはめられた精神科医を描くサスペンスで灯台とあまり関係ないが、開巻49分あたり、主人公と姉妹の姉とのデート場所がピジョン・ポイント灯台。米国西海岸に立つ灯台としてはポイント・アーリーナ灯台と並んで最も高い(35m)この灯台を、広角レンズによる大俯瞰で空中から捉えたショットはかなりカッコイイ。映画のクライマックスは嵐の夜に灯台で繰り広げられる追跡劇。セット撮影だが、暴風雨の中の灯台はやはり観ていてワクワクする。ピジョン・ポイント灯台とその周辺は州立公園や国の歴史遺産に指定・保存されているが、灯台そのものは破損が激しく、2001年から見学は中止。現在もお金集めをしつつ、修復作業が続けられている。

ピジョン・ポイント Pigeon Point 灯台
(カリフォルニア/アメリカ 初点灯:1872年 塔高:35m
レンズ:第一等フレネルレンズ *現在は外されている)



その2

https://en.wikipedia.org/wiki/Point_Reyes_Lighthouse

ザ・フォッグ (80年 米 監督:ジョン・カーペンター)

100年前の惨劇の復讐に、被害者の亡霊たちが霧(フォッグ)とともに海辺の町を襲うゴースト・ホラー。灯台の中にラジオ局のブースがあるという設定だが、当然セット(実際の灯台は現在ビジター・センターで、見学可能)。せっかく「霧と灯台」を題材にしているのに、灯台の全景をとらえたショットはほんのわずか。しかもミニチュアを作る予算がなかったのか、夜、光を放つ灯台を霧が包んでいくといった幽玄的描写もなく、ホラー好きにも灯台好きにも少々期待外れの感あり。とはいえ開巻40分あたり、晴れた日に崖の上から長い長い階段(308段)を歩いて降り、灯台に到るシーンはとても美しい。ロケ場所のカリフォルニア州ポイント・レイズは太平洋岸で最も風が強く、北米大陸で二番目に霧が多い土地。

ポイント・レイズ Point Reyes 灯台
(カリフォルニア/アメリカ 初点灯:1870年 塔高:11m
レンズ:第一等フレネルレンズ)

普段は映画について雑文を書いたり、翻訳をしたり、他にも色々しています。
ロバート・スティーヴンソンのベル・ロック灯台建設の再現ドラマを観て以来、灯台に魅せられています。
灯台の美しさに惹かれているのはもちろん、灯台建設にまつわる話や工法。作った人たちについて読むのが好きです。
スティーヴンソン一族レスpekt。

映画レビュー 幸重善爾 (ゆきしげ ぜんに)

「灯台守の恋」は日本で公開された時、映画館で見ました！
舞台となったウエサン島は灯台好きにとって夢のような島。1695年から立つスティッフ灯台もあります。
住みたいぐらいに素敵。今度はジュマン灯台まで船で近づきたいな。
他にも灯台が登場する映画がいろいろあるんですね。
今回レビューを書いてくださった幸重さん、本当にありがとうございました！(不動)

ロング・エンゲージメント (04年 仏 監督ジャン＝ピエール・ジュネ)

ヒロインの恋人が灯台守の息子で、子ども時代の二人の思い出の場所が Héaux de Bréhat 灯台。ジュネは視覚描写に優れた監督で、灯台の周りを回りながらカメラが降りていくショットは映画史上もっとも美しい灯台描写かも。灯台好きが喜ぶべきは、セバスチャン・ジャブリゾの原作小説には灯台はまったく出て来ないにもかかわらず、映画では美しい灯台が見られること。脚本のギョーム・ローランとジュネのアイデアか。Héaux de Bréhat はフランスで最も高い灯台の一つ。岩礁の上に建てられており、二層に分割された特徴的なデザインは、英国のエディストーンやベル・ロック灯台を参考にした頑丈な下層と、より軽い上層に分かれているため。第二次大戦中にドイツ軍によって塔の四分の一が爆破されたが、戦争終結後、再建された。

Héaux de Bréhat 灯台 (コート＝ダルモール/フランス 初点灯:1840年 塔高:57m)



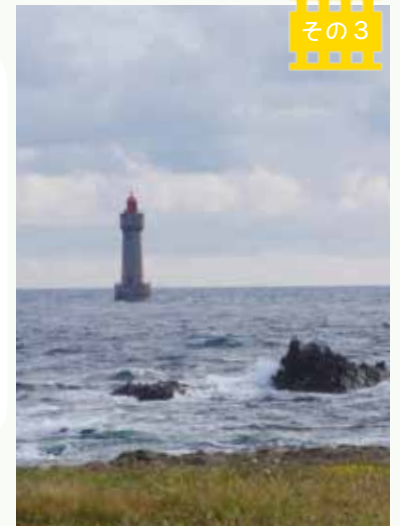
その5

https://fr.wikipedia.org/wiki/Phare_des_Héaux_de_Bréhat

灯台守の恋 (04年 仏 監督:フィリップ・リオレ)

灯台写真家ジャン・ギシャールが撮影した、大波の中にそそり立つ灯台の写真で世界的に知られるようになったジュマン灯台が舞台。灯台が全自動化される以前の1973年の話なので、灯台の中の様子はもちろん、灯台守たちの暮らしぶりもよくわかる。また、現実ではおそらくあり得ないであろう、灯台から花火が打ち上げられるシーンは、灯台に魅せられた者にとってはまさに夢のよう。それに加えて、近くにある Nividic 灯台や Créac'h 灯台もチラチラ写り、一本の映画でタイプの異なる三基の灯台が一度に見られる。ギシャールの写真そのままの大波ショットがあるのも嬉しい。灯台映画の東の横綱が『喜びも悲しみも幾歳月』なら西はこの『灯台守の恋』という、灯台好き必見作。

ジュマン La Jument 灯台
(ウエサン島(ブルターニュ)/フランス 初点灯:1911年 塔高:48m レンズ:フレネルレンズ)



その3

ジュマン灯台をウエサン島から眺める



Goulphar 灯台
フランス ヘル・イル
47° 18'39.2"N 3° 13'37.2"W
建設：1836年
高さ：52m
灯質：群閃白光 毎10秒に2閃光

PHARE
DE
GOULPHAR

CIRCULATION
INTERDITE
A TOUT
VEHICULE
ETRANGER
AU SERVICE



レンズの銘板は見つかりませんでしたが、資料に横浜標識製作所製と書いてありました。プリズムの色が、青っぽいもの、緑っぽいもの、透明のものと3種類あり、欠損した部分を取り替えながら使用してきたことがわかります。光源はメタルハライド電球で2つあるうちの1つは予備電球です。



灯台に おじゃまします

レポート No.01
劔埼灯台

今号から新しいコーナー「灯台におじゃまします」を掲載します！保守点検の時などに同行させていただき、普段は中に入ることができない灯台内部をレポートします！



水銀式回転機械を上から見た所



分銅筒と滑車



鉄の階段（輸入品だと思われる）



この面で緑色の光を1閃光



この面で白い光を2閃光

劔埼灯台 (Tsurugi Saki)
灯質：AL FL(2+1)W G 30s
複合群閃白緑互光 毎30秒に白2閃光と緑1閃光
光達距離：白、緑共に17海里（約31km）

横須賀海上保安部のみならず、取材をさせていただきありがとうございます！



三浦半島の先の東側に位置する劔埼。そこへ明治4年に灯台が建てられました。初代の灯台はリチャードヘンリーブランドンの設計によるものでしたが、残念ながら関東大震災で倒壊。現在の灯台は2代目で、8角形のコンクリート造となっています。初代灯台で使われていた崩れた石材は灯台に続く道の石畳として再利用されているので、足元にも注目。

第2等群閃光レンズを使用し、灯塔の高さが17mとあまり高くないので、レンズを鑑賞するのにうってつけの灯台だと思います。

灯室（光源とレンズのある部屋）に入ると、レンズの迫力に息を飲みました。内側をそっと覗いてみるとメタルハライド電球の片側だけ覆うように緑色のフィルターが配置され、緑の閃光を飛ばす大きな1面のレンズと、白い閃光を飛ばす2面のレンズで構成されているのがわかります。フィルターで光力が落ちる分、緑の方は大きなレンズを使用。レンズはこれまで水銀槽式回転機械で回していましたが、水銀の有毒性が心配され、今後ベアリング式の回転機械に変更するそうです。

分銅筒には滑車が残され、電化される前は灯台守が重たい分銅を巻き上げ、錘の落ちる力によって回転させていました。いにしへの灯台についても想いを馳せることができます。

ハンブルクは港がおもしろい

ドイツ北部ハンブルクに行ってきました！巨大なエルベ河を中心に古くから貿易で栄えた港湾都市。近年は港の再開発が進む。ドイツ語で灯台は Leuchtturm(ロイヒトトルム)◎



ハンブルクぶらり 港まきの巻

ハンブルク
ドイツ



灯台船 “ DAS FEUERSCHIFF ”

灯台船とは、船上に灯器を掲げ灯台の代わりに役割を担うもので、灯台建築が難しい海上に設置される。日本にも本牧と函館にあった。この灯台船は1952年にイギリスで建設され、イギリス東海岸のハンバー河口のナビゲーションとして使用されていた。88年に役目を終えたが、93年からハンブルク港に停泊し、レストラン・カフェ・バー・ホテルとして活躍している。光源はリフレクター式で、360度回転しながら港を照らす。ちょうど点灯の瞬間に立ち会えた！灯台船の目の前にコーヒー屋さんがあり、夕日を背景に、テラス席でカフェラテを飲みながら、光が灯った灯台船を眺めるという最高のシチュエーションで幸せな時間を過ごしたハラであった。



国際海事博物館 “ Internationales Maritimes Museum ”

ハンブルク港の再開発地区、ハーフェンシティにある。ミニチュア模型の膨大なコレクション・造船技術・船舶の様式・操船技術・海軍の成り立ち・漁の方法・帆船の歴史・船をモチーフにした絵画など、海事に関するほぼ全てのことを網羅している博物館。もちろんお目当ては灯台の展示コーナー。灯台の成り立ちやレンズの模型や、ミニチュアの模型が展示されていた。壁一面の灯台スケッチがとてとても素敵だった。ドイツ北部の灯台もかなりアツいことがわかった。ミュージアムショップは灯台グッズが充実！買い占めないわけがない！

灯台グッズの宝庫

ステイ先のおばあちゃん家には、灯台グッズがいたるところに見られたし、街中では灯台グッズを運くお店を発見し、可愛いディスプレイやグッズにテンションが上がった！Leuchtturmはハンブルクっ子にとって身近なモチーフということがわかった。やっぱり港町はいいな～！マニアへの道はまだまだ続く。。



灯台グッズが買えるお店

この季節はクリスマスやバレンタインなどプレゼントを選ぶ機会も多いはず。灯台が好きなあなたから、灯台が好きなあの人へ、素敵なプレゼントが見つかるお店を紹介します！



Lighthouse Keeper
片瀬江ノ島駅
から徒歩1分

Lighthouse Keeper

住所 藤沢市片瀬海岸 1-12-23

電話 0466-28-2857

営業時間 10:30 ~ 18:30(季節により変動)

定休日 木曜日(夏季無休)

灯台ファンの間ではすでに有名店である江ノ島の「ライトハウスキーパー」。オーナーの山口さんは灯台の愛好会「ライトハウスラバーズ」の代表を務め、灯台文化の継承にも貢献していらっしやいます。店内には所狭しと灯台のフィギュアやスノードーム、洋服や写真集などが並びます。また船やイカリをモチーフにしたマリングッズもあるので、灯台だけでなく海が好きな方にもお好みの品が見つかるはず。

犬吠埼灯台のすぐ近くにオープンした「プリズム」は、犬吠埼灯台が大好きな女性、袖山さんがオーナー。明るい店内には女性ならではのチョイスで可愛らしい灯台グッズが並んでいます。

どちらのお店もお財布の紐がゆるゆるになるほど魅力的なグッズで溢れています。ぜひ素敵な灯台グッズを探しに行ってみてください！

プリズム

犬吠埼灯台のお藤元



プリズム

住所 千葉県銚子市犬吠埼 9 5 7 5

電話 0479-25-1731

営業時間 10:00 ~ 17:00

定休日 火曜日、水曜日



次号の予告
NEXT ISSUE

灯台建築について勉強しよう！

明治初期、お雇い外国人によって始まった西洋式の灯台建築。
その後、日本人によって設計された灯台についても
考えてみたいと思います！

次号 Vol. 13 は
2017年2月11日ごろ発行予定！



編集後記

お、餃子だけでなく、
ビールも欲するなく
てハラちゃんも大人
になったんだね。
よし、のみこ。
不動

灯台船を見なが
らオーブンペラ
スで餃子とお幸せ
ですなあ。



ハラ



不動

はらちゃん、
ハンブルクで
灯台船を見る
ことができて
よかったね。

灯台どうだい？を置いていただいている場所 ありがとうございます！

全国の登れる灯台 (入道埼灯台、出雲日御碕灯台、角島灯台、都井岬灯台、潮岬灯台、大王埼灯台、安乗埼灯台、御前埼灯台、初島灯台、野島灯台、観音埼灯台、犬吠埼灯台、塩屋埼灯台、残波岬灯台、平安名埼灯台)

海事系博物館

海上保安資料館 横浜館、海洋情報資料館、神戸海洋博物館、船の科学館、横浜みなと博物館、フェルケール博物館、名古屋海洋博物館、瀬戸内海歴史民俗資料館、呉市海事歴史科学館、海王丸パーク 男木島灯台資料館、鳥羽 海の博物館、函館市灯台資料館ピカリン館 東京海洋大学附属図書館越中島キャンパス

カフェ/バー

ノアノア【愛知県/美浜町】、美保関灯台ビュッフェ【島根県/松江】、TSUBAKI【茨城/日立】、カーディフ【東京/目黒】、まめ吉【東京/玉川上水】、ガンブリヌス【東京/国分寺】、tumiki 食堂【大阪/茨木】、喫茶ガーシェウィン【岐阜/多治見】 他にもあります！HPをご覧ください。

ショップ

『Lighthouse Keeper』灯台グッズ専門ショップ【神奈川/江ノ島】
『STAR SHIP MODELS』海雑貨と船の模型の専門店【北海道/帯広】
『B & B』本屋【東京/下北沢】
『手紙舎 2nd STORY』雑貨とカフェ【東京/調布】
『オンリーフリーペーパー』【東京/東小金井】他にもあります！HPをご覧ください。

「灯台どうだい？」 2017年度サポーターさまを募集します！

年会費1000円で年4回発行の「灯台どうだい？」をご指定のご住所まで配送する「サポーター制度」の募集をいたします。詳細はHPをご覧くださいませ。

Facebookもやっております！

お問い合わせメール
ホームページ

toudaidoudai@gmail.com (いつも激励のメールをありがとうございます！)
http://toudaifreepaper.jimdo.com

灯台どうだい？ 第12号 (2016年冬号)
発行日 2016年11月11日
Staff 原亜緒衣
編集・発行 不動まゆう